

平成26年度 景気動向調査

●調査目的

留萌地域においては依然として商業・サービス業・建設業・水産加工業など多くの業種において業況が悪化し、地域経済に深刻な影響を及ぼし、この状況が長期化、深刻化することが懸念されております。

また、今年4月の消費税増税やアベノミクスによる経済振興策等が留萌市経済にどのような影響を及ぼしているかを、留萌市からの委託を受けたこの「景気動向調査」を実施することにより、今後の地域経済活性化事業に関する検討資料とすることを目的とする。

●調査実施期間

平成26年7月22日～8月8日

●調査方法

設問は留萌市が作成し、留萌商工会議所が会員事業所653事業所へ調査票を郵送し、回答はFAXで返信していただくか、又は会議所へ届けていただいた。

配布枚数 653枚 回答数 109枚 回収率 16.7%

調査結果概要

今回で5年目となる本調査は、毎年多くの会員事業所の特段のご協力により実施できたことに先ずもって感謝したい。

調査結果としては、調査目的にある「依然として商業・サービス業・建設業・水産加工業など多くの業種において業況が悪化し」との予測が若干のバラつきは有るもののアンケートを通して確認されたと言え、当地域経済にとってはアベノミクス経済政策効果よりも消費税増税後の消費の落ち込みの影響が大きかった結果となった。問Ⅱの道内全体の景況感については、設問は道内とうたっているが回答した事業所が留萌市内の企業であることから留萌市内の景況感と思われ、悪いが30.4%、大変悪いが5.4%で合計35.8%と昨年よりも2ポイント増えたが、逆に良いも13.4%で前年より2ポイント増えて、バラつき感の裏付けとなった。業績動向での悪い要因としては「個人消費の減少」と「先行き不透明感」で61.8%ととなり、4月以降消費税増税による消費の落ち込みと先行き不透明感による消費の停滞が大きかったと言える。今後の景気見通しについては、良くなるが9.2%で昨年よりも6ポイントも減少し先行きに対する不安が増しており、利益見通しについても増加が10.3%で昨年よりも7ポイント減少し、景気の回復時期についても「不明」が80.3%とまだまだ回復の道筋が見えない状況。資金繰りについても「やや厳しい」と「厳しい」で33.4%を占め、「売り上げの減少」が主な要因となっている。先行き（2～3ヶ月先）における懸念材料としては、「景気対策の動向」「個人消費の動向」「公共投資の動向」「税制の動向」が上位にあり、中小・零細企業にとっては、政府の経済対策による更なる景気の押し上げに期待する声大きいと言える。

以上のことから留萌市の経済にとっては、需要の拡大のため、公共事業の発注を増加することにより建設業等が元気を取り戻し、小売業やサービス業等にお金が廻り、消費者の購買力が高まるような施策が必要と思われ、アベノミクス効果が期待されるころだ。また、バイ留萌運動のようなお金が市内を循環する仕組みを今後も考えて行かなければいけない。特に人口減少は大きな問題で平成26年8月末で23,049人と、昨年同期より520人も減少しており、簡単な事ではないが企業誘致などで、若者が就職できる雇用機会の拡大も早急に図らなければならない。さらに、商業者にとっては、今後ますます進行する高齢者社会に対応すべく、高齢者の需要を取り込んだきめ細かなサービスの提供とコンパクトで高齢者に優しい街づくりが急務と言えよう。

I 貴社の業種について

① 回答事業所の業種及び回答数

建設業	21枚
製造業	12枚
運輸業	6枚
卸・小売業	40枚
飲食・サービス業	20枚
その他	10枚
合計	109枚

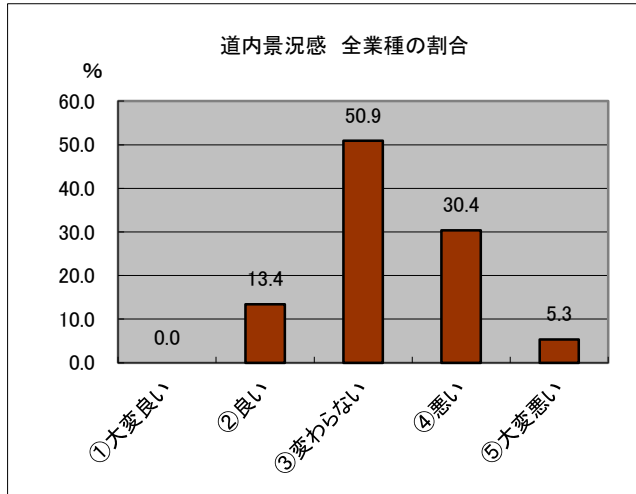
② 貴社の従業員数を教えてください 業種ごとの合計数

	従業員数	内正社員	正社員の割合
建設業	318	238	74.8 %
製造業	249	107	43.0 %
運輸業	199	149	74.9 %
卸・小売業	259	158	61.0 %
飲食・サービス業	254	126	49.6 %
その他	203	187	92.1 %
合計	1482	965	65.1 %

Ⅱ 道内全体の景況感について

1) 前年と比較した道内全体の景況について伺います。

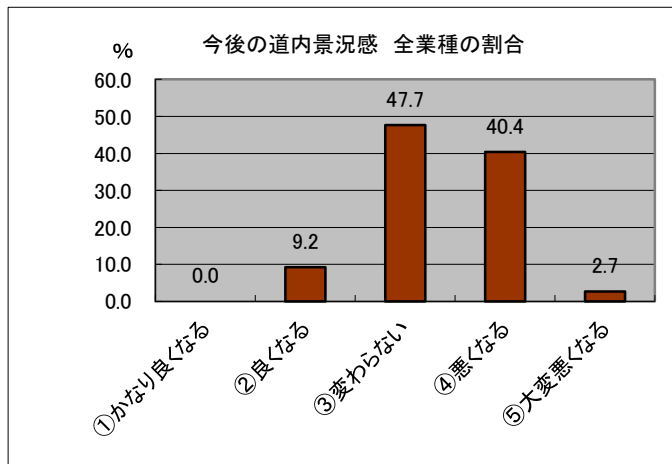
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	0	0	0	0	0	0	0	0.0
②良い	3	2	0	1	3	6	15	13.4
③変わらない	12	9	3	17	10	6	57	50.9
④悪い	3	0	2	20	6	3	34	30.4
⑤大変悪い	1	1	1	2	1	0	6	5.3
							112	100.0



◎前年と比較した道内全体の景況についての設問であるが回答のあった事業所が留萌市内であることから留萌市の景況感を表しているといえる。左のグラフの全業種で見ると③変わらないが50.9%で昨年と同じく一番、続いて④悪い30.4%、②良い13.4%、⑤大変悪い5.3%、①大変良い0.0%の順となっている。③の変わらないは前年より3.6ポイント下がった。④悪い⑤大変悪いを合わせると35.7%になり昨年より2ポイント増えた。逆に②良いも1.5ポイント増え、景況感にばらつきが出た結果となったが、

2) 今後の景況感について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①かなり良くなる	0	0	0	0	0	0	0	0.0
②良くなる	2	1	0	3	2	2	10	9.2
③変わらない	14	6	1	15	11	5	52	47.7
④悪くなる	4	5	4	22	6	3	44	40.4
⑤大変悪くなる	1	0	1	0	1	0	3	2.7
							109	100.0



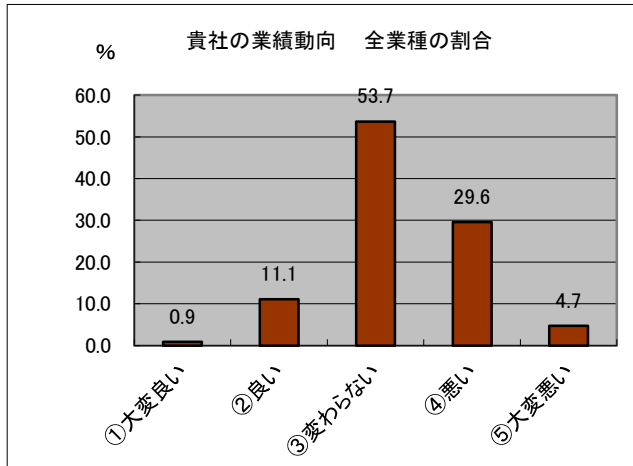
◎左のグラフは今後の道内景況感について尋ねたものだが上記(1)の傾向と同じく③変わらない④悪くなる⑤大変悪くなるの合計で90.8%となっているところから、まだまだ厳しい状況が続くとの見方が多くなっている。

Ⅲ 貴社の業績動向について

1) 前年と比較した売上げ高(又は販売数量)について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	1	0	0	0	0	0	1	0.9
②良い	2	2	1	3	2	2	12	11.1
③変わらない	8	5	3	22	13	7	58	53.7
④悪い	7	5	2	13	4	1	32	29.6
⑤大変悪い	2	0	0	2	1	0	5	4.7

108 100.0

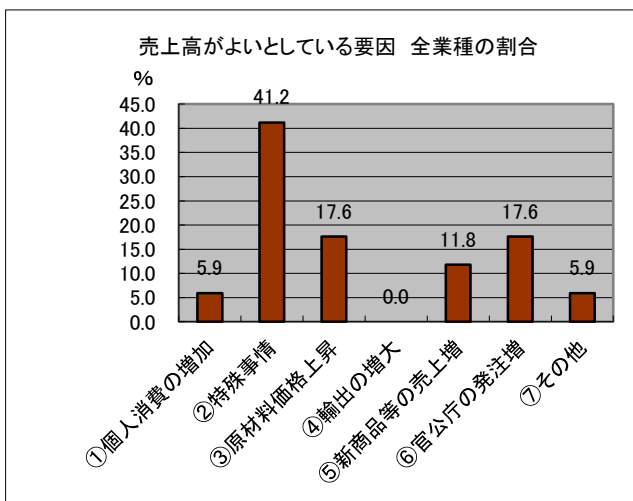


◎前年と比較した売上げ高について尋ねたものだが④悪い29.6%と⑤大変悪い4.7%を合わせると34.3%で昨年より増加。逆に①大変良い0.9%と②良い11.1%の合計は12%で減少し、昨年より厳しい状況であることがわかる。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が良いとしている要因はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の増加	0	1	0	0	0	0	1	5.9
②特殊事情	0	1	0	3	1	2	7	41.2
③原材料価格上昇	0	0	1	2	0	0	3	17.6
④輸出の増大	0	0	0	0	0	0	0	0.0
⑤新商品等の売上増	0	0	0	1	1	0	2	11.8
⑥官公庁の発注増	2	0	0	1	0	0	3	17.6
⑦その他	1	0	0	0	0	0	1	5.9

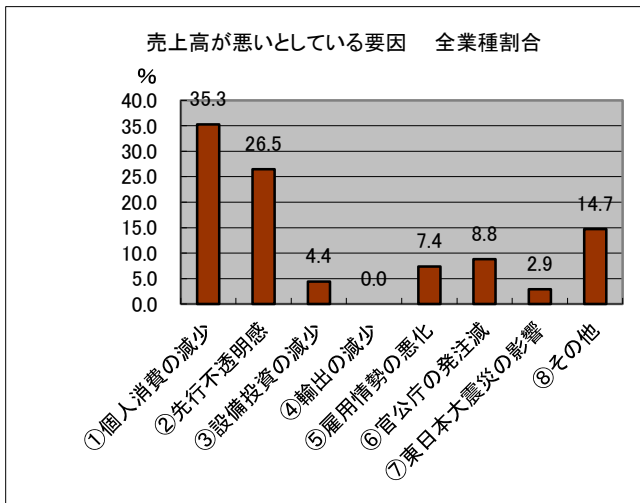
17 100.0



◎上記1)の設問で①大変良い、②良いと回答した事業所で、良いとしている要因は②特殊事情41.2%③原材料価格上昇17.6%⑥官公庁の発注増17.6%⑤新商品等の売上増11.8%①個人消費の増加5.9%⑦その他の順になっている。

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が悪いと
している要因はどのようなことですか。(複数回答可)

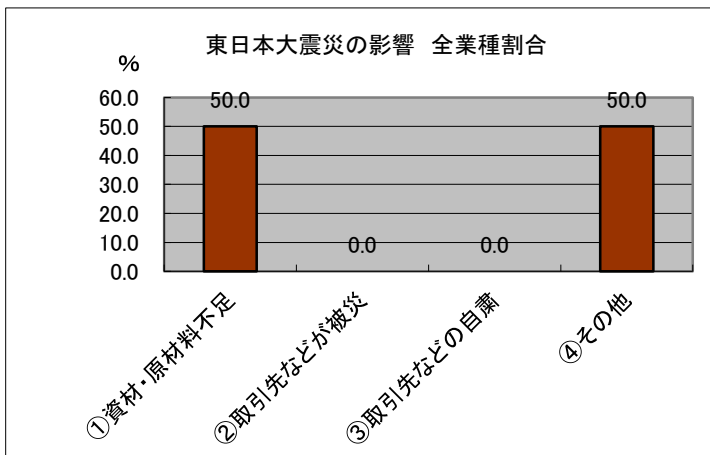
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の減少	0	4	2	15	3	0	24	35.3
②先行不透明感	4	3	1	6	4	0	18	26.5
③設備投資の減少	2	1	0	0	0	0	3	4.4
④輸出の減少	0	0	0	0	0	0	0	0.0
⑤雇用情勢の悪化	1	1	1	0	2	0	5	7.4
⑥官公庁の発注減	4	1	0	1	0	0	6	8.8
⑦東日本大震災の影響	2	0	0	0	0	0	2	2.9
⑧その他	0	0	1	8	0	1	10	14.7



68 100.0
 ◎1)で④悪い、⑤大変悪いと回答した事業所でその要因としては、全業種で見ると、①個人消費の減少35.3%②先行不透明感26.5%、⑧その他14.7%、⑥官公庁の発注減8.8%の順になっている。

4) 3)で⑦を選択した方に伺います。具体的にどのような影響がありましたか。
該当するものに○をつけてください。

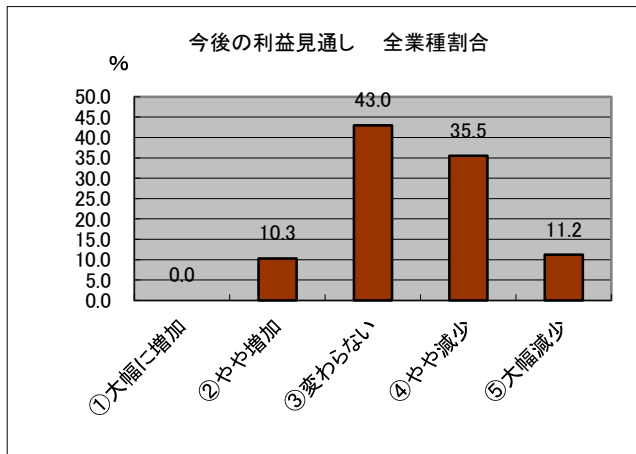
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①資材・原材料不足	1	0	0	0	0	0	1	50.0
②取引先などが被災	0	0	0	0	0	0	0	0.0
③取引先などの自粛	0	0	0	0	0	0	0	0.0
④その他	1	0	0	0	0	0	1	50.0



2
 ◎3)で⑦東日本大震災の影響と回答した事業所は、①資材・原材料不足と、④その他と答えた企業が有ったのみで、サンプル数も少なく、大震災の影響は少なくなってきたと思われる。

5) 今後の利益見通しについて伺います。

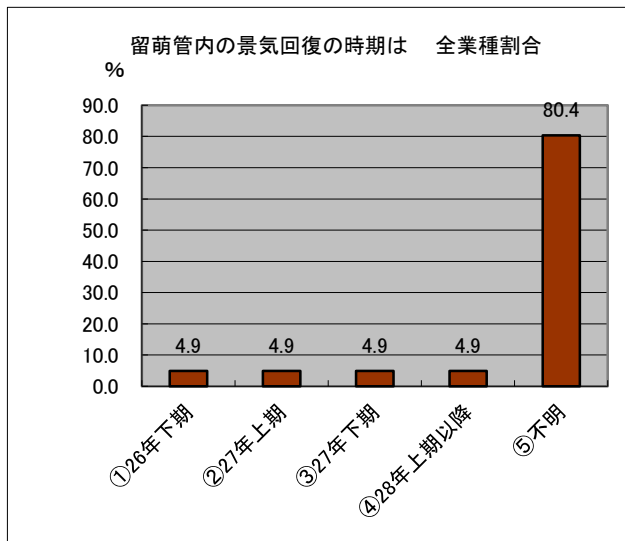
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大幅に増加	0	0	0	0	0	0	0	0.0
②やや増加	1	4	0	1	4	1	11	10.3
③変わらない	10	2	3	18	8	5	46	43.0
④やや減少	6	4	1	18	6	3	38	35.5
⑤大幅減少	4	2	1	3	1	1	12	11.2



◎今後の利益見通しについての設問だが①大幅に増加は無くなり、②やや増加が10.3%で6ポイント下がった。逆に④やや減少と⑤大幅減少で46.7%で昨年より6ポイント上がり、今後利益確保がより厳しさを増すとみる事業所が多くなった。

6) 5)で④か⑤を選択した方に伺います。留萌管内の景気回復の時期はいつ頃だとお考えですか。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①26年下期	1	0	0	1	0	1	3	4.9
②27年上期	0	0	0	2	1	0	3	4.9
③27年下期	0	0	0	1	1	1	3	4.9
④28年上期以降	1	0	0	1	1	0	3	4.9
⑤不明	10	7	3	21	5	3	49	80.4

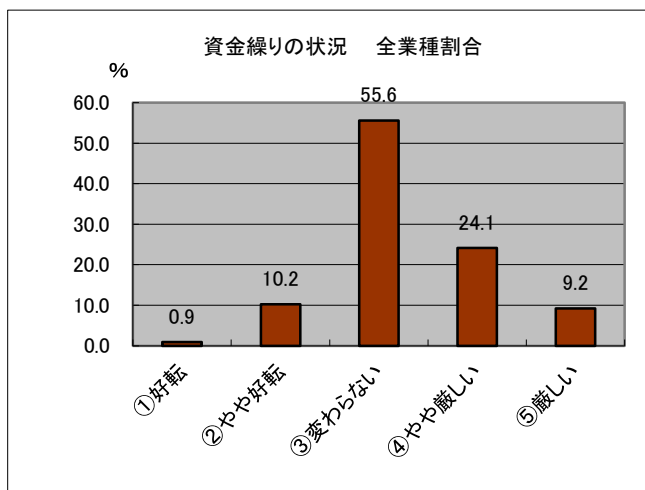


◎5)で、④やや減少⑤大幅減少を選択した方に聞いたもので、景気回復は何時になるか、との設問だが⑤不明が80.4%で、長引く不況がいつ回復するか見通せない状況は今回も変わらなかった。

IV 貴社の経営実態について

1) 前年と比較した資金繰りの状況について伺います。

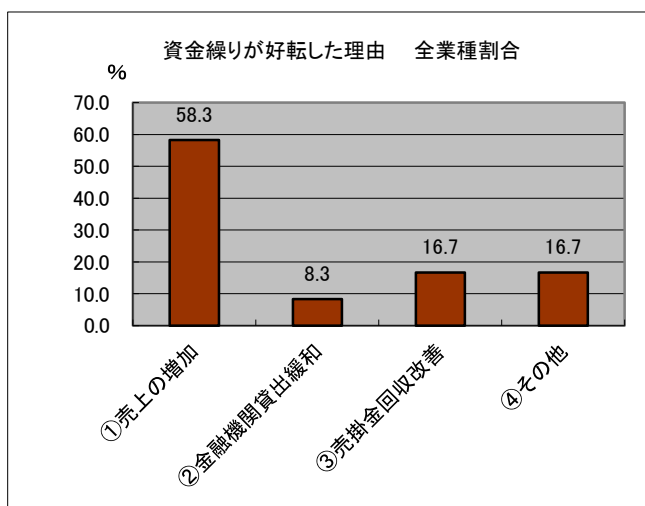
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①好転	1	0	0	0	0	0	1	0.9
②やや好転	2	4	0	2	2	1	11	10.2
③変わらない	12	4	4	20	12	8	60	55.6
④やや厳しい	2	2	1	17	4	0	26	24.1
⑤厳しい	3	2	1	1	2	1	10	9.2



108 100.0
 ◎前年と比較した資金繰りの状況だが④やや厳しいと⑤厳しいで33.3%を占め、昨年とほぼ同じく資金繰りが厳しい企業が3社に1社になっている。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。資金繰りが好転した理由はどのようなことですか。(複数回答可)

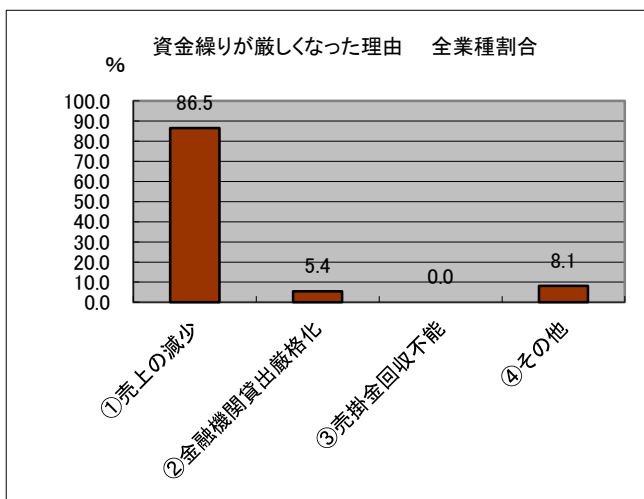
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の増加	2	3	0	1	0	1	7	58.3
②金融機関貸出緩和	1	0	0	0	0	0	1	8.3
③売掛金回収改善	1	0	0	0	1	0	2	16.7
④その他	0	1	0	1	0	0	2	16.7



12 100.0
 ◎(1)で①好転②やや好転を選んだ事業所が資金繰りが好転した理由を回答したものだが①売上の増加58.3%、③売掛金回収改善と④その他が16.7%となっている。

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。資金繰りが厳しくなった理由はどのようなことですか。(複数回答可)

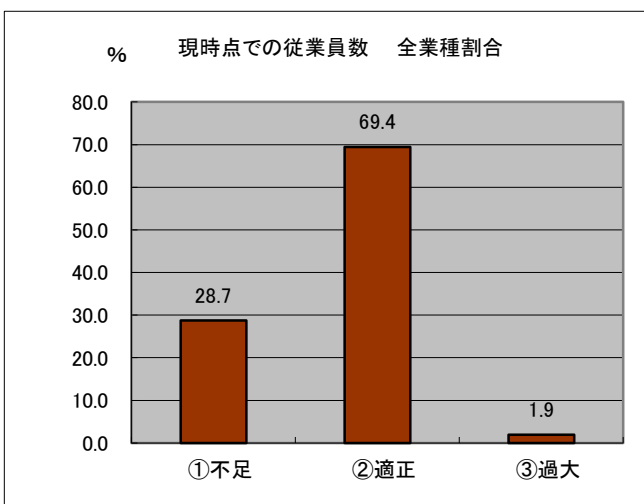
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の減少	5	4	1	16	5	1	32	86.5
②金融機関貸出厳格化	0	0	0	1	1	0	2	5.4
③売掛金回収不能	0	0	0	0	0	0	0	0.0
④その他	0	0	0	2	1	0	3	8.1



37 100.0
◎資金繰りが悪くなった理由だが売上げの減少が86.5%と、全業種で原因のトップとなっている。

4) 現時点での従業員数について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	6	3	4	10	8	0	31	28.7
②適正	15	9	2	28	11	10	75	69.4
③過大	0	0	0	2	0	0	2	1.9

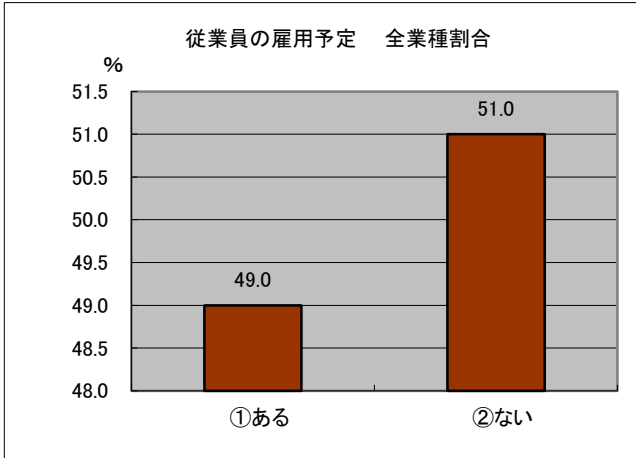


108 100.0
◎現時点での従業員数については②適正が69.4%①不足は28.7%③過大が1.9%で昨年とほぼ同じ。

5) 4)で①を選択した方に伺います。今後、従業員を雇用する予定はありますか

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	8	1	3	4	8	0	24	49.0
②ない	0	4	1	15	4	1	25	51.0

49 100.0

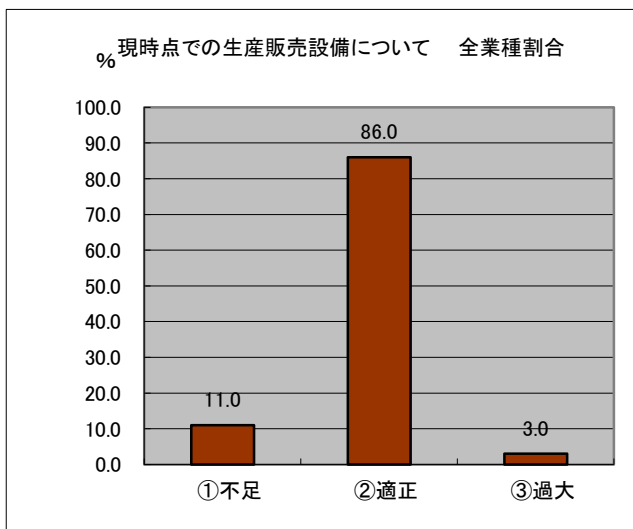


◎(4)で①不足と回答した事業所のうち従業員を雇用する予定①あるが49.0%、②ないが51.0%で昨年と同じであった。

6) 現時点での生産販売設備について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	1	3	1	2	3	1	11	11.0
②適正	17	9	3	33	16	8	86	86.0
③過大	0	0	1	2	0	0	3	3.0

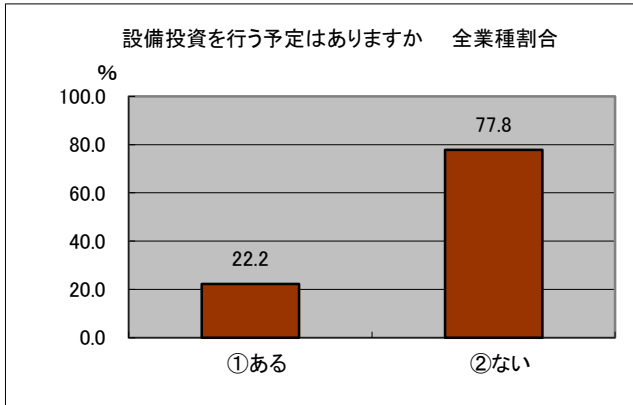
100 100.0



◎現時点での生産設備については②適正86.0%①不足11.0%③過大3.0%の順になっている。

7)6)で①を選択した方に伺います。今後、設備投資を行う予定はありますか？

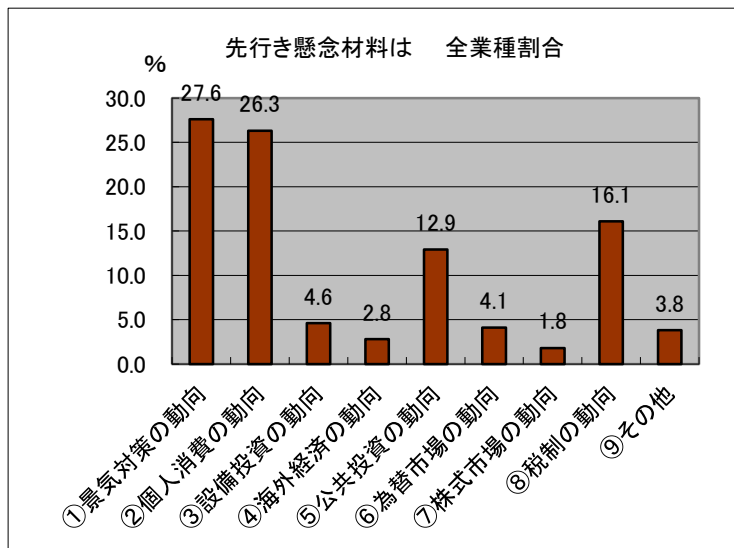
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	0	2	1	1	2	0	6	22.2
②ない	2	2	0	12	3	2	21	77.8



27 100.0
 ◎ (6)で①不足と回答した事業所のうち今後設備投資を行う予定①あるが22.2%、②ないが77.8%で、昨年より設備投資意欲は10ポイントほど減少した。

8)先行き(2~3ヶ月先)における懸念材料はどんなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①景気対策の動向	13	9	5	18	10	5	60	27.6
②個人消費の動向	3	8	2	29	10	5	57	26.3
③設備投資の動向	1	1	2	3	1	2	10	4.6
④海外経済の動向	1	0	2	0	3	0	6	2.8
⑤公共投資の動向	11	2	2	7	2	4	28	12.9
⑥為替市場の動向	2	2	1	2	2	0	9	4.1
⑦株式市場の動向	0	0	0	1	2	1	4	1.8
⑧税制の動向	5	3	1	13	9	4	35	16.1
⑨その他	0	0	0	6	1	1	8	3.8



217 100.0
 ◎ 先行き懸念材料についての設問だが、①景気対策の動向27.6%②個人消費の動向26.3%⑧税制の動向16.1%、⑤公共投資の動向12.9%の順になっている。長引く不況の中でアベノミクスに期待する中小・零細企業は少なくない。

文章回答

Ⅲ-2 ⑧その他

企業努力

Ⅲ-3 ⑧その他

マイカーによる移動手段増 量販店の出店。価格の下落。消費税の増税。少子化。

Ⅲ-4 ④その他

資材の値上がり 現場職方(専門職)不足

Ⅳ-2 ④その他

役員数減少、支出減少。

Ⅳ-3 ④その他

設備投資。利幅減少。新製品作りに掛けている。

地方中小企業に受注可能な1億円以下の工事発注が少ないので、地域経済は潤わない。

Ⅳ-8 ⑨その他

油の値上がり。資材価格の高騰。北電の値上げ、油の値上がり。

海外紛争の動向。原価高騰。人口減。

Ⅳ-9 不況下における事業展開の取り組み

建設業

長期的な公共投資の動向が不透明である。(特に留萌管内)

安定した雇用は、安定した公共工事発注が早道なので、継続的な受注に努める。

新聞等による公告

製造業

営業の強化

運輸業

閑散期の対応—新しい荷主(貨物)の掘り起こし。

企業イメージアップと、コストダウンの両立、人材確保に努力。

卸小売業

きめ細やかな訪問活動と情報収集。

消費人口の減少する中で、独自の商品開発、サービスの開発が生き残る第一条件と考える。

他社との差別化を図り、PR力をつける。小さな事からでも取り組む。立ち止まらないこと。

社員教育に力を入れ、社員の能力向上を図ることで、価格ではなく人で販売する原点回帰を進める。

個別にお客様を回る回数を増やしている。

飲食サービス業

常に「三方良し」の仕事を心掛けています。

その他

情報収集による事業機会の拡大、新規顧客の獲得。

V-1 ①市への要望

建設業

保育所等の子育て環境の整備等で、若年世代が留萌に残れる等の政策等で、定住人口の増加を目指す。

安定した工事発注を期待します。市議員が多すぎ。活動が今一。考慮が必要。

運輸業

今後も「客船」の寄港誘致に尽力頂きたい。その為の港湾整備、美化もお願いしたい。

卸小売業

地元で対応(物品販売)出来ない物はない、全て地元発注。若い人が働ける職場作り。

能力のある新しい市長の出現を希望いたします。市政に業種に対する片寄りが感じられる。

現市長に全くエネルギーが感じられず、流されているままの市政運営である。無能としか言えない。

増毛、小平等に比べてイベント見劣りする。イベントなど各商店の連携がなく、継続性がない。

高齢者の生活に助力になる様な行政サービスを心がけて欲しい。

机上に終わることなく外に目を向ける。足で働く。

飲食サービス業

人口減少を食い止める手法を早く

V-1 ②会議所への要望

建設業

商店街の集約等の整理で、買い物しなくなる環境を。

長期的なインフラ整備の計画・立案・要望をお願いしたい。

必要な限り活動を宜しく。

製造業

責任を明らかにする。人事異動を行う。

運輸業

市内宿泊施設が不足で、全道規模の大会に対応できないのでは？

浜中運動公園等の施設も活用不足分の状況から脱却する方法を。

卸小売業

官公庁に対して地元購入を促進させてほしい。

市役所、他の官庁と将来の留萌のビジョンの作成。

今回の女子職員のための使い込みに関しての会議所三役の在職の固執は、

市民目線からよほどの役得の存在有りと疑い感じさせる充分な事でした。

私欲のみに走る会議所の主な役員は全員解雇希望します。

今回の事件は刑事事件にすべきです。

商工会議所の本来の目的(仕事)が出来なくて全体が形骸化している。

本当に留萌の経済の発展に真摯に向き合っているとは思えない。

今回の事件も、飲み食いなど私的な使われ方。金の流れの透明化、

インターネットに発表すべき。何故刑事告発出来ないのか。

会議所以外にも影響の懸念が疑われる。

今までも2回もこのようなずさんな経理で、膿を出すべきである。

こつこつ地道な努力で信頼回復して欲しい。商店街通りを明るくして欲しい。

会員企業に対して、待つのではなく仕向けていくよう足で働く。